

黒星病・炭疽病の秋季防除を開始していますか

1. 黒星病

9月下旬現在、葉における発生は平年よりやや少ない状況です。

【薬剤散布】

- ◆ 芽りん片の露出部に病原菌が感染するのを「予防する」対策です。
- ◆ 耐性菌発生を防ぐため DMI 剤や QoI 剤の使用は避けましょう。オキシラン水和剤、デランフロアブル、チオノック/トレノックスフロアブル、アントラコール顆粒水和剤等を選択しましょう。
- ◆ 薬剤散布は10月中旬～11月上旬ごろまで(目安:落葉80%まで)に2～3回実施し、新梢先端部の芽まで薬剤が付着するよう、丁寧に散布しましょう。なお、落葉の進み具合は気温の推移によって変わるため、落葉状況をよく確認して、散布終了時期を判断してください。

【落葉処理】

- ◆ 越冬する病原菌の密度を下げるのができる唯一の対策です。
- ◆ 富山県の研究によって、落葉の残存量が少ないほど翌春の果そう発病率が低いことが明らかとなり、落葉の残存量は「収集・持ち出し処分」が最も少なく、次いで、「粉碎(2回)」、「中耕すき込み」、「粉碎(1回) + 中耕すき込み」の順に少ないことが報告されています。

【ポイント】

原形をとどめた落葉を
ほ場に残さない

来春に向けての注意点

生育が前進化しても生育ステージに合わせた初期防除を実施できるよう、冬季の管理作業を計画的に進めましょう。

2. 炭疽病

今年は、9月以降に県央、県南地域を中心に県内全域で発生し、一部圃場で早期落葉が見られました。

【薬剤散布】

- ◆ 秋季防除の薬剤は、QoI 剤は耐性菌発生を防ぐために避け、オキシラン水和剤、デランフロアブル、チオノック/トレノックスフロアブル等を選択しましょう。

剪定時に健全樹と見分けられるよう、罹病樹に印をつけましょう

【落葉処理】

- ◆ 越冬菌の密度を下げる対策として、黒星病と同様に「落葉処理」を徹底しましょう。
- ◆ 生育期の風通しや薬剤付着性が向上するように、罹病樹を整枝剪定する際は、側枝の配置密度を下げないように工夫しましょう。

◎ 農薬の使用回数のカウントは収穫後から始まります！

◎ 来年度のシーズンに使用する薬剤（薬剤の使用回数）を考慮して、薬剤を選択しましょう。

◎ 農薬の登録情報は令和5年10月1日現在のものです。

資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する方は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

3. 中国における火傷病の発生について

中国における火傷病の発生を確認したため、令和5年8月30日から中国産なし・りんごの花粉等の輸入が停止されました。

【火傷病とは】

「火傷病」は国内への侵入を警戒している重要病害です。

- ◆ 韓国、イスラエル、トルコ、イタリア、英国、オランダ、ドイツ、フランス、エジプト、北米諸国、メキシコ、ニュージーランド等に分布しています。
- ◆ なし属、りんご属、さんざし属、ななかまど属、かりん、びわ等が宿主植物です。
- ◆ 日本では発生が確認されていませんが、火傷病に有効な防除方法はなく、感染すると、樹全体が枯死することもあります。
- ◆ 火傷病に感染した花粉を人工受粉することにより、健全樹に伝染する恐れがあります。

【花粉の自家採取】

輸入花粉が使用できなくなることから、花粉の自家採取を進める必要があります。

なしの主要品種は自家不和合性のものが多いので、自然交配では受粉樹を30～50%混植し、人工受粉主体では10%程度混植することが目安とされています。

10a当たりの受粉1回に必要な粗花粉量は60～70ccで、これに要する赤い生薬の量は200cc、花数にして5,000花です。

表 なし品種のS遺伝子型

S 遺伝子型	品種名
S1 S2	独逸、早玉
S1 S3	凜夏
S1 S4	八雲、翠星、はつまる
S1 S5	君塚早生、長寿
S1 S7	豊月
S1 S8	市原早生、明月
S1 S9	天の川
S2 S3	長十郎
S2 S4	二十世紀、菊水、早生長十郎
S2 S5	愛宕、八里、早生幸蔵、きらり
S3 S4	筑水、あきづき、なつしずく、若光、なつひかり、甘太
S3 S5	豊水、あけみず、涼豊、彩玉
S3 S9	新高
S4 S5	幸水、新水、秀玉、八幸、多摩、愛甘水、王秋、喜水、早生赤、太白、恵水
S4 S8	平和
S4 S9	新興、新星、南水、南月
S4 ^m S5	なるみ
S5 S6	新雪
S5 S7	晩三吉
S5 S9	にっこり、かおり(平塚16号)
S5 SK	ほしあかり

注)同一S遺伝子型間では、受粉できない

【例】

「幸水」「豊水」「あきづき」
は互いに交配可能